

英語科 学習指導案

日 時 平成3年11月13日(水) 2校時

学 級 2年〇組(男子15名、女子15名、計30名)

指導者 北上市立北上北中学校教諭 高橋 明浩

1、单元名 Lesson 7 What Are You Going to Do Tomorrow?

2、单元設定の理由

◎新文型について

これまでに、“I get up at seven.”のような第1文型(S V)、“My name is Mike Davis.”のような第2文型(S V C)、“I like basketball.”のような第3文型(S V O)を学習している。しかし、これらの文型では“I'll give you my apple.”「あなたにリンゴをあげよう。」のような英語は理解できない。ちなみに、このような形をとりうる動詞は ask, buy, give, make, show, teach, tell などたくさんあり、どれも欧米人の日常生活ではよく使われている。そこで、これらの動詞を使って第4文型(S V O O)の英文を使いこなせるよう設定されたのが本单元である。

一方、Lesson 5で学習した未来形(be going to ~)、Lesson 6で学習した have to ~の類似表現として、それぞれ will, must を学習する。

◎教科書の本文について

現在、日本ではマスメディアの発達により、大変多くの外国の情報が飛び込んできている。しかし、興味本位で与えられる情報や日本のよい文化を崩してしまいそうな情報も少なくない。これからますます国際化していくだろう日本で生きていく生徒たちにとって、異文化で生活している人々やその言語を育んできた文化に対する理解を深めることはとても重要なことである。日常の授業ではもちろん、機会ある毎に外国の様子やそこで文化、人々の行動パターンなどを話して聞かせてはいるが、ここでは特に仕事に対する報酬の考え方の違い、日米の自転車の仕組みの違い、図書館で借りた本に対する考え方の違いの3つについての知識を与えていきたい。もちろん日本の生活の長所、短所と比較しながら学習させることになる。

3、生徒の実態

初めて生徒に授業で対面したとき感じたのは、全体的におとなしく、発言もあまり多くなく、あいさつなどの声も小さいということだった。そこで、5月からは生徒一人一人の発言回数をチェックし、「発言点」として成績に加えるような方法をとったところ、俄然はりきって手を挙げて自分の考えを言う生徒が増えてきている上、『英語の授業がおもしろくなった』という生徒や、実際に成績が伸びてきた生徒が見られる。一方、各種テストを見ると上位もいるが、中一~下位の生徒も少なくない。1年生の時にかなり「書くこと」に重点を置いて指

導されてきてはいるものの、実際場面での文法の運用という面で基礎的な理解ができていない生徒がいるように見うけられる。特に、下位の生徒の中には単語を読めない生徒も何人かいて、授業中はぼんやりしていることもある。そこで、日常から心掛けて指導していることは、実際に新文型を授業の中で生き生きと使わせることである。これによって、上位の生徒はもちろん、下位の生徒でもイメージや体で覚えてくれることが期待できる。さらに、中位～下位の生徒に対しては、新文型の導入のときは一斉授業の中でもできるだけ1学年から現在までの既習事項を思い出させながら授業を進めている。例えば、未来形 (be going to) を教えるときには、上位の生徒はすぐ納得したが、下位の生徒のために can の使われる位置、既習の『現在形』と『過去形』について、be 動詞の主語による使い分けなどを簡単に説明してから『未来形』を導入したわけである。手間はかかるが、生徒の理解はスムーズである。

4、単元の目標

- ・Part 1: 第4文型SVOO、特に [give + 人 + 物] の形と意味を理解させ、運用させる。
- ・Part 2: 未来を表すwillの形と意味を理解させ、運用させる。
- ・Part 3: 必要を表すmustの形と意味を理解させ、運用させる。

5、指導計画（8時間）

- ・Part 1 ——— 2時間（本時1/2）
- ・Part 2 ——— 2時間
- ・Part 3 ——— 2時間
- ・単元テストと解答 — 2時間

6、本時の指導

(1) 題材 第4文型SVOO (give + 人 + 物)

(2) 本時の目標

- ・[主語 + give + 人 + 物]の意味と語順を理解し、運用することができる。
- ・[主語 + give + 人 + 物]の形を使って、自分で好きな英文を作ることができる。
- ・班で協力しあい、進んで英語を使って楽しく活動することができる。

(3) 指導の構想

本時では、SVOOを理解できて使えるかどうかが大きな目標になる。そこでまず、その意味が分かりやすい場面を設けて、意味を容易に理解できるようにする。次に、語順に注意させ、“Give me ~.”という命令文をゲーム形式で（自己存在感をねらう）何度も言わせる。このゲームを実行するに際しては、各班の英語の得意な生徒・そうでない生徒の作業量を班ごとに話し合せ（共感的関係をねらう）、できるだけ短時間で作業が終わるように工夫させたい。後に、giveを使ったいくつかの英文を作らせるようにして、定着を図っていく。

なお、英作文の作業においては班員同士で助け合いながら、どの生徒も最低一つはオリジナリティーのある英文（自己決定をねらう）を作らせたい。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	時間	指導上の留意点	備考
導入	1、あいさつ	(T) "Good morning, class." (S) "Good morning, Akii. How are you?" (T) "I'm fine, thank you. How are you?" (S) "Fine, too. Thank you."	1	・元気にあいさつさせる	
	2、Small Talk	・日常生活についての英語での質問に英語で答える。 (例) Did you watch TV last night?	3	・答えられないときはヒントを与える ・上位→下位まで指名	
展開	3、学習課題の把握	・一人の生徒が“Give ~ …”という教師の指示に従って行動し、他の生徒はその場面を見て英文の働きを予測する。	8	・2～3回動作を繰り返し、何を指示しているかを自由に言わせる	・ペンなどを用いる
	4、文法事項の説明	(例) “Give (生徒名) this pen.” ・「(人に物を)あげなさい」という命令文は [Give + 人 + 物] の語順になっていることを理解する。		・短い時間で要点だけを説明する	・紙板書を用いる
	5、パターンプラクティス	・[Give + 人 + 物]の形を使って、数個の英文を口頭で表現する。 (例) Give him your book. Give me a break.		・教師の話に集中させる ・人や物についてのキーワードを日本語で与える。 ・できた英文は全員で言わせる	・板書して列挙する
	6、文字集めゲーム	1)=教師のルール説明= 2)=作戦会議= どうすれば早く、能率的に作業できるかを班毎に話し合う。(単語の文字数によって、質問者を割り当てる。また、単語の組み合わせ係も決める) 3)=ゲーム= “Give me ~.”という英文を言いながら、一人一人別々に与えられたアルファベットのカードを集め、そのカードを並べかえて単語を作る。(班競争)	18	・教師の話に集中させる ・下位の生徒に少ない文字が割り当たるように、上位の生徒には組み合せ役をさせたい ・自由に歩き回らせる ・遅れている生徒に援助 ・順位を板書 ・全員の単語が完成した班の班長を呼んで正答を手渡す	・時間を限定する ・班体制で ・文字リストカード
総結	7、本時のまとめ	・プリントの問題を解いて理解度をチェックする。 A:語順を並べかえる問題 B:give を使って英文を作る問題 C:自分で場面を考えて S V O O の形の英文を作る問題	10	・定着を挙手で確認する ・班の中での教え合い可 ・A, B:全生徒ができる C:上位の生徒のみで可 ・最後に発表させる	・学習プリント
	8.宿題と次時予告	・本文の単語調べを宿題とし、次の時間は本文を学習することを知る。		・短時間で指示・予告する	
	9.あいさつ	・(T) "Good by, class." (S) "Good by, Akii."		・元気にあいさつさせる	

(5) 評価の観点

- ・[主語 + give + 人 + 物]の意味と語順を理解し、運用できたか。
- ・[主語 + give + 人 + 物]の構文を使って自己表現ができたか。
- ・ゲームの実行にあたって、班内でうまく協力できたか。
- ・進んで英語を使って、楽しく生き生きと活動できたか。

☆ゲームのパターン例

- 1、生徒各自は数個のアルファベットが書かれたシートを教師から渡される。(全員別々のもの)
(例) N, L, I, A, M, Aなど
- 2、次に、a から z まで 1 個ずつ書かれたカードを数枚ずつ渡される。(ランダムに)
(例) A, C, H, N, P, T
- 3、「用意、スタート」の合図で “Give me N.”などと言いながら紙に書いてあるアルファベットを友達から集めてあるく。
(例) A君から “N”を、Bさんから “L”を、C君から “I”を・・・
- 4、自分のシートのアルファベットカードが全部そろったら席に戻り、並べかえて単語を作る。
(例) N, L, I, A, M, Aを並べかえてA, N, I, M, A, L→ANIMALが完成
- 5、班で全員の単語ができたら班長が正解を書いた紙を取りにくる。確認が終わった班から一位二位、・・・と順位をつける。

☆ルール

- ・日本語を使わないで、自分で “Give me ...”を言わせる。
- ・紙を人に見せないようにさせる。(話さなければ実行できないように)
- ・並べかえは、班で援助しあってもよいことにする。(下位の生徒への思いやり)
- ・班競争を意識するあまり、カードがあるのに「ない」とウソをつかせない。

※参考資料・1 [次時の授業の流れ]

- 1、本時の復習
- 2、新出単語の発音と意味の確認
- 3、本文の聞き取り(テープとピクチャーカード使用)
- 4、本文の内容の確認
- 5、本文の読みの練習
- 6、文法事項のノートメモ、ワーク

※参考資料・2 [座席表] ※省略

Lesson 7

____組____番 氏名_____

(基本文) My father gives me some money every week.

(わたしの父は、わたしに毎週いくらかのお金をくれます。)

※上の文で、give (くれる、あげる)という動詞は①もらう人、②もらう物の2つともないとおかしいことになってしまう動詞である。

(おかしい例) Please give me. (私に下さい？ 私を下さい？)

Please give 5000 yen. (だれにあげるの？)

※このようなときは、give の後に『人(に)』、『物(を)』の順で単語を言うと正しい英文になる。

人間の方が物よりエライ(?)から先におくのである。

(正しい例) Please give me 5000 yen.

(私に) (5000円を)

※この『人(に) + 物(を)』の順が狂うと、とんでもない英文ができるから注意！

(とんでもない例) Please give the lion me.

(そのライオンに) (私を)

◎理解度チェック

A. () 内の単語を並べかえて、日本語と同じような意味の英文にしなさい。

(1) 私にその猫を下さい。 Please (me / give / the cat).

Please _____.
_____.

(2) 彼の父は、彼に毎週3000円をあげている。 His father (gives / 3000 yen / him).

His father _____.
_____.

(3) 母は、父にネクタイ(tie)をあげた(gave)。 ※gaveはgiveの過去形。

(a tie / my mother / gave / my father).

_____.

B. [g i v e + 人(に) + 物(を)] の形を使って、自分で英文を自由に3つ作ってみよう。(過去形の gave(あげた、もらった)を使っててもよい。)

(例) I gave my dog a fish. (私はうちの犬に魚をあげた)

※実は、g i v e 以外にもこのような形をとる動詞がある。buy(買う)、show(見せる)、teach(勉強を教える)、tell(情報を教える)などである。

C. 時間が余った人はやってみよう(場面を考えて、自分で例文を作りなさい)。

(例) Please tell me the way to Kitakami station.

(市内で外人さんにたずねられたとき)

1. _____
(場面: _____)
2. _____
(場面: _____)
3. _____
(場面: _____)

D. 今日の授業について質問します。(全員)

- ・今日学習したことがよく理解できましたか。(Yes / So, so / No)
- ・英語できちんと会話できましたか。(Yes / So, so / No)
- ・授業に集中できましたか。(Yes / So, so / No)

X, B, O	A, K, P, E, S
U, C, P	C, S, M, U, I
N, E, P	D, Y, A, O, T
A, N, C	Y, L, F, I, A, M
G, B, I	N, I, M, T, E, U
W, E, N	W, O, E, Y, L, L
E, M, K, A	R, O, G, N, T, S
L, A, T, L	M, A, I, N, L, A
G, N, I, S	E, T, H, R, A, F
K, O, B, O	R, Y, U, N, O, C, T
D, N, H, A	G, I, L, H, S, E, N
K, E, A, L	T, H, B, O, R, R, E
E, R, P, P, A	T, E, R, U, C, I, P
I, N, T, G, H	G, N, I, R, O, M, N
C, H, T, A, W	U, T, S, T, N, E, D